

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-4-1-1
事業名 旭市災害公営住宅整備事業（駐車場整備）

事業費 総額 2,678 千円（国費 2,142 千円）
（内訳：工事費 2,678 千円）

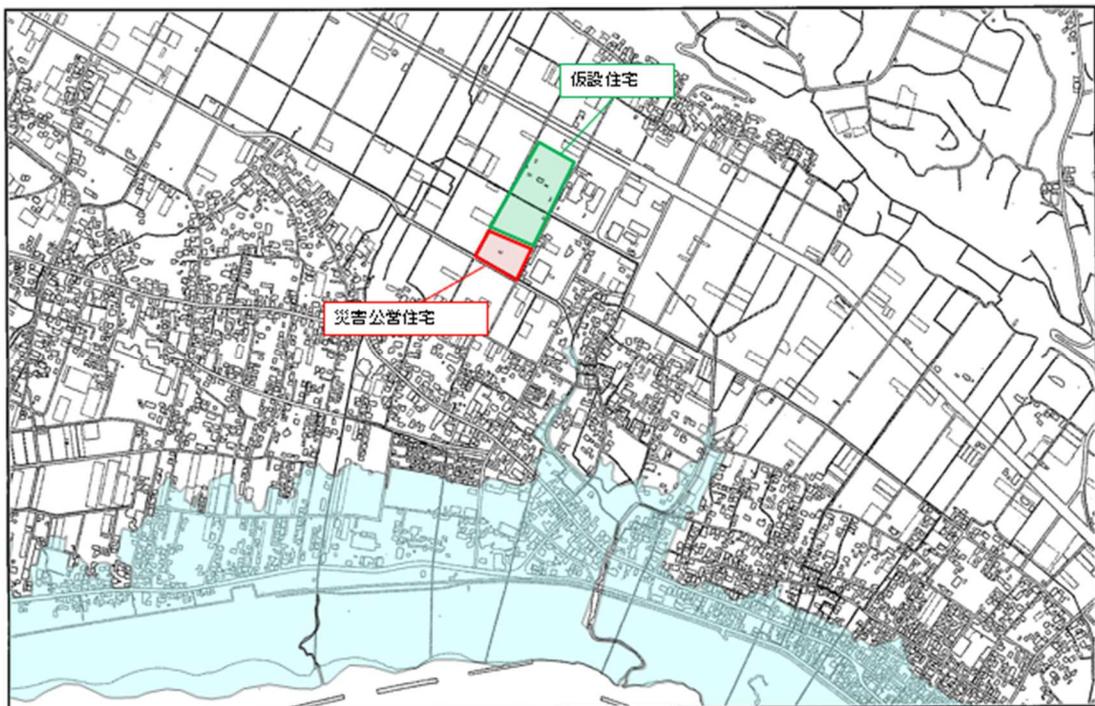
事業期間 平成 25 年度

事業目的・事業地区

・事業目的

東日本大震災により住宅を失った被災者の居住の安定を図るため、低廉な家賃で入居できる災害公営住宅の建設に併せて、住環境整備の一環として入居者が利用するための駐車場の整備を行う。

整備箇所 旭市萩園 1810 番地 2



事業結果

○整備概要

面積 412.875 m² 構造 アスファルト舗装 駐車台数 33 台



① 駐車場整備状況



② 駐車場整備状況

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

災害公営住宅の戸数である 33 戸に合わせ、33 台分を整備し、令和 3 年 3 月末時点で、33 台分のうち 20 台分が利用されている。

管理開始以降から 20 台程度の利用が続いており、今後の利用増にも対応できる。災害公営住宅周辺には公共交通が少なく、自家用車の利用が不可欠な地域性もあり、本事業は避難者の居住環境の向上に資するものであったと考えられる。

② コストに関する調査・分析・評価

被災者へのアンケート等を通じて、必要台数を把握した上で適正規模の駐車場を整備することができた。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

・想定した事業期間

調査・設計：平成 24 年 12 月 ～平成 25 年 3 月

工事：平成 26 年 2 月 4 日～平成 26 年 3 月 17 日

・実際に事業に有した事業期間

調査・設計：平成 24 年 12 月 ～平成 25 年 3 月

工事：平成 26 年 2 月 4 日～平成 26 年 3 月 25 日

天候不良の影響のため、当初計画していた日程での工事作業車両の調整確保が困難となったことにより、工期を延長したが、予定していた工期と大きくは変わらず、完成を迎えることができた。予定どおり被災者の入居を行うことができ、事業手法・事業期間は妥当であったと考えられる。

事業担当部局

都市整備課建築住宅班 電話番号：0479-62-5895